

6年越しの夢が叶った！エルサルバドル訪問

私は今、国際交流基金メキシコ日本文化センターで日本語専門家として日本語教師研修などの日本語教育支援をしています。メキシコ？エルサルバドル？私はメキシコにいますが、中米カリブ地域の日本語教育支援を主な担当として、2017年からエルサルバドルの日本語の先生方を始め、中米カリブ地域の先生方と一緒に仕事をしています。実は、私は2011年から2013年まで、エルサルバドルのお隣の国、ホンジュラスでJICAの青年海外協力隊として活動していました。ホンジュラスでもpupusasが食べられ、私の一番好きな食べ物でした。その後、pupusasが実はエルサルバドルの料理だということを知り、ぜひ本場で美味しいpupusasを食べたいなあと考えていました。しかし、ホンジュラスの治安が悪化し、エルサルバドルを訪問する機会がないまま、ホンジュラスを去ることになりました。そして、6年後の2019年、ついに念願のエルサルバドルを訪問する機会がやってきました！第10回中米カリブ日本語教育セミナーがエルサルバドルで開催されたのです。訪問までには様々な手続き等が必要であり、それを乗り越えて、やっと叶った訪問でした。

2020年2月にも、第10回に引き続き第11回中米カリブ日本語教育セミナーがエルサルバドルで実施されました。今までの中米カリブ日本語教育セミナー実施国の経験から、2年連続でセミナーを開催することにより、過去の反省点が活かされ、より良いセミナーが出来上がるとの考えからです。そして、エルサルバドルの先生方は見事にその期待に応えてくれ、昨年よりも内容の濃い、とても素晴らしいセミナーができました。エルサルバドル国立大学のアントニア・リバスさん、中米大学言語センター日本語コーディネーターのレネ・コントラスさん、そして、多くのエルサルバドルの先生方が毎日遅くま





で頑張って作り上げてくれたセミナーでした。エルサルバドルは中米の日本と呼ばれるほどで、エルサルバドルの方々は真面目な人が多いそうです。私は前回、そして今回のセミナーの際にそれを肌で感じることができました。

さらに今回はセミナー後、エルサルバドルの先生方を対象に、集中研修を行いました。セミナーが終わってすぐだったので、とても忙しい中での4日間の研修でしたが、7人の先生が無事研修を終了しました。エルサルバドルの先生方はいつもとても勉強熱心で、常に研修の機会を求めている姿勢を強く感じました。

セミナー期間中、そして、集中研修中も美味しい pupusas を堪能し、そして、私の大好きなビールもたくさん飲みました。でも、やり残したこともたくさんあります。行きたかったところもたくさんあります。いつかまた必ずエルサルバドルに戻ってきたいと、心から強く願っています。次はいつかな？

